

2022年12月期 決算説明会

クリヤマホールディングス株式会社

(東証スタンダード市場:3355)

代表取締役CEO 小貫 成彦

1. 2022年度 連結業績概要
2. 2023年度 連結業績見通し
3. 事業戦略と人財戦略

2022年度 連結業績概要

連結業績の概要



(単位：百万円)

項目	2021年12月期 (実績)	2022年12月期 (実績)	前年比		2022年12月期 (予想) ※2022年2月発表時	予想比	
			増減額	増減率(%)		増減額	増減率(%)
売上高	59,549	71,475	+ 11,926	+ 20.0	63,000	+ 8,475	+ 13.5
営業利益 利益率	4,302 7.2%	4,560 6.3%	+ 258	+ 6.0	4,300 6.8%	+ 260	+ 6.0
経常利益 利益率	4,778 8.0%	4,971 6.9%	+ 193	+ 4.0	4,700 7.4%	+ 271	+ 5.8
親会社株主に帰属する 当期純利益 利益率	3,809 6.3%	3,637 5.0%	▲ 172	▲ 4.5	3,200 5.0%	+ 437	+ 13.7

為替レート

2021年(実績) : USD=110.37、CAD=87.99、EUR=130.34、RMB=17.12

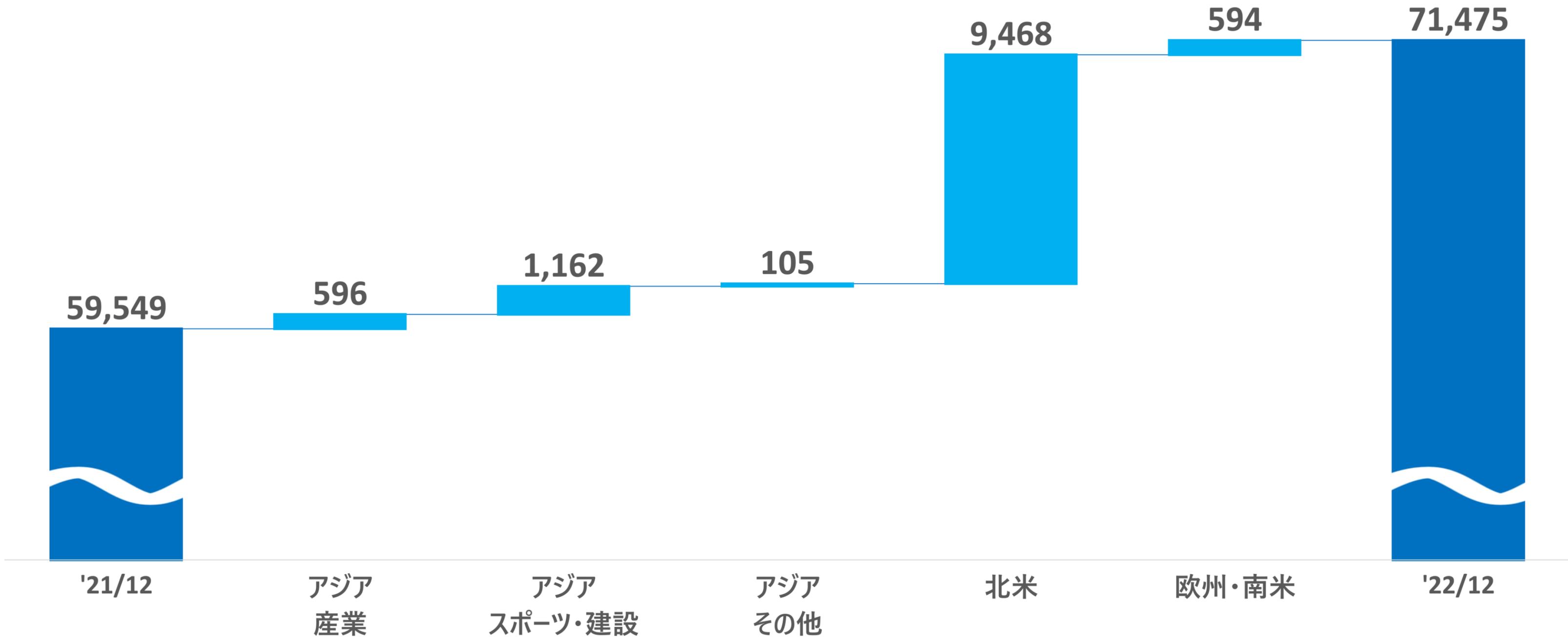
2022年(実績) : USD=132.08、CAD=101.01、EUR=138.54、RMB=19.50

2022年(予想) : USD=112.00、CAD=94.00、EUR=133.00、RMB=17.80

売上高増減要因

■ 前年比20.0%増収

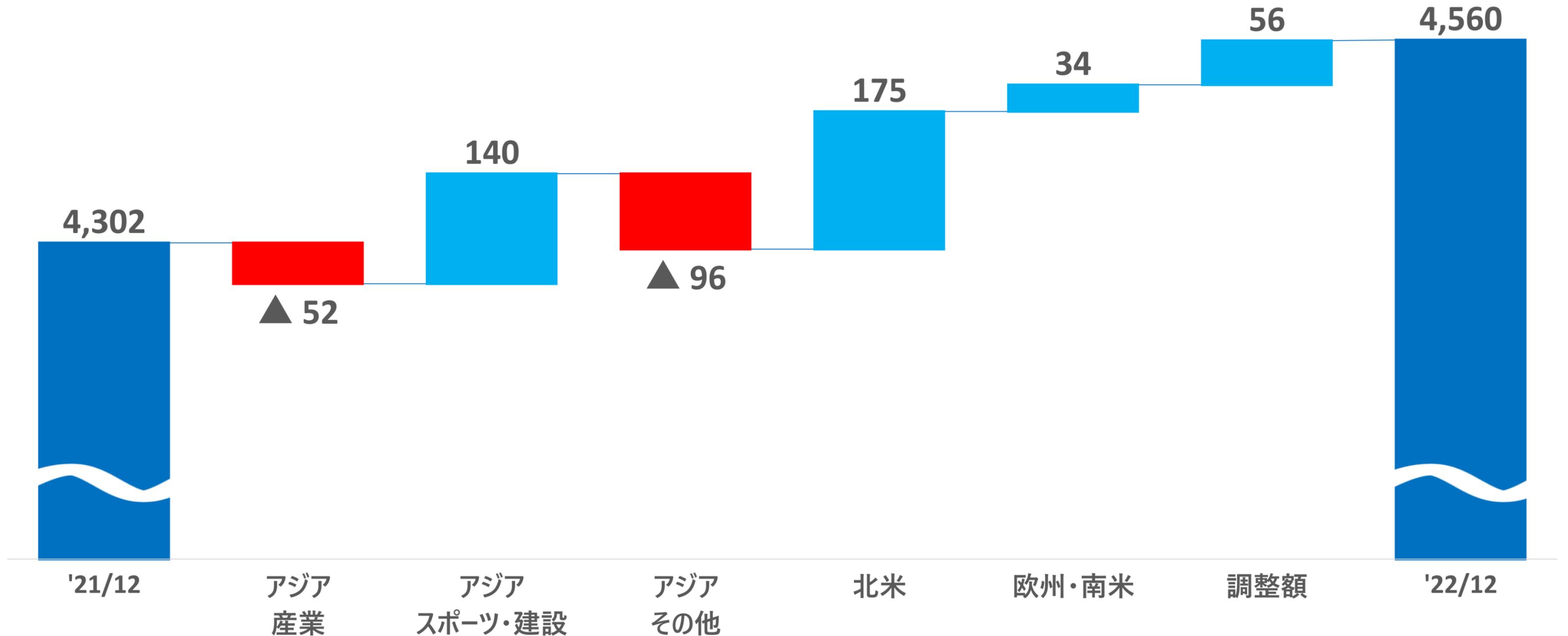
(単位：百万円)



営業利益増減要因

■ 前年比6.0%増益

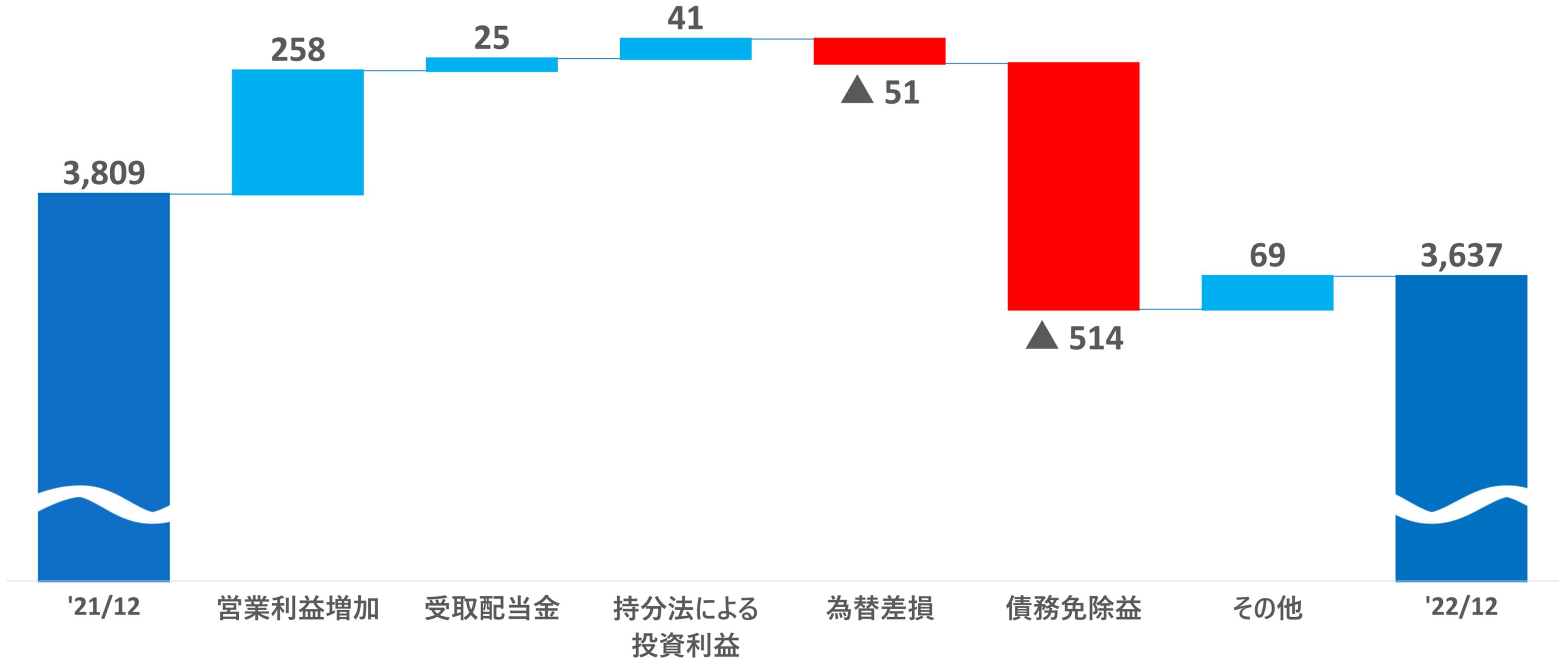
(単位：百万円)



当期純利益増減要因

■ 前年比4.5%減益

(単位：百万円)



セグメント別売上高・営業利益

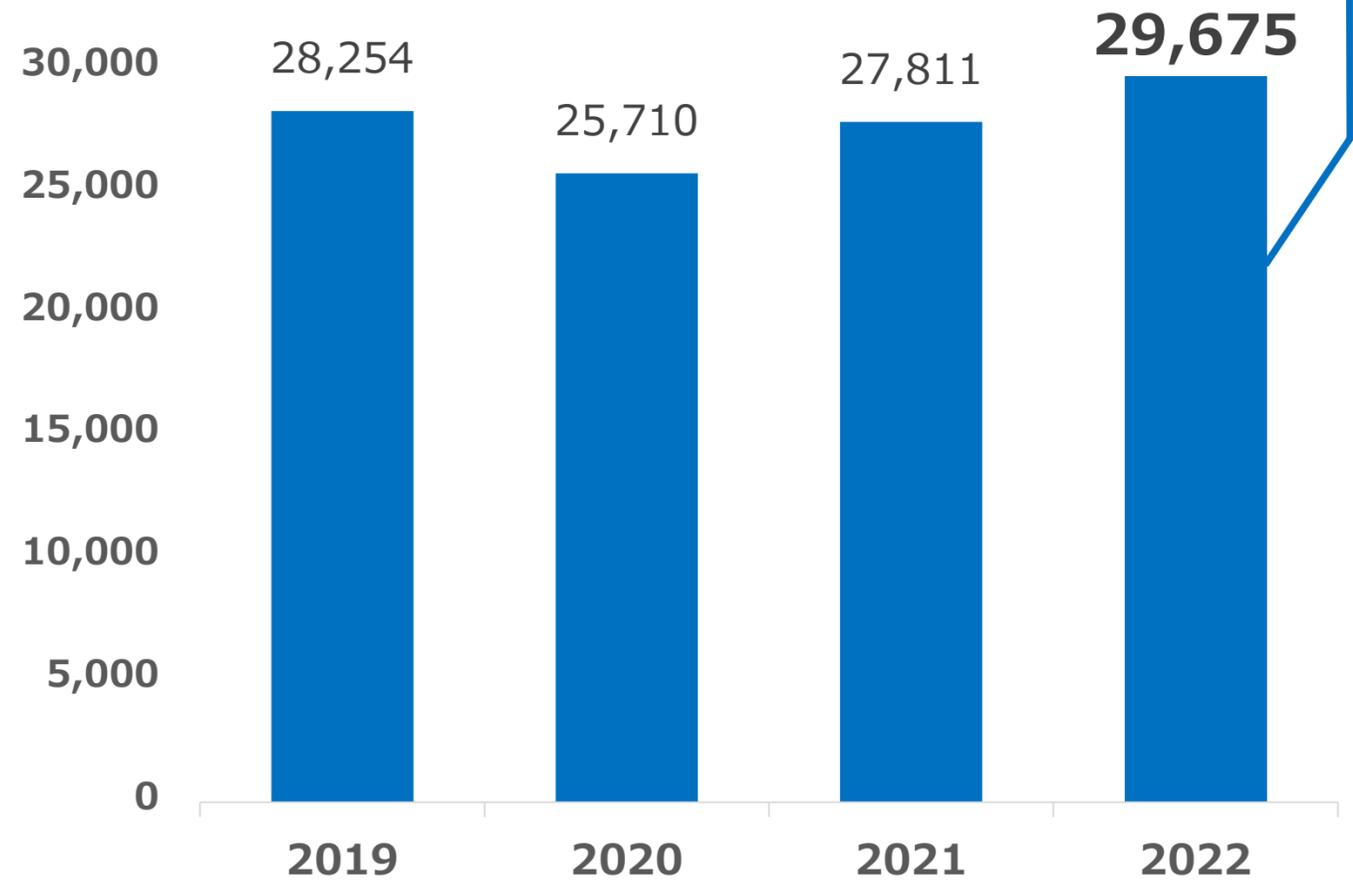


(単位：百万円)

セグメント		2021年12月期 (実績)	2022年12月期 (実績)	前年比	
				増減額	増減率(%)
アジア事業	売上高	27,811	29,675	+ 1,864	+ 6.7
	営業利益	3,163	3,154	▲ 9	▲ 0.3
	産業資材	17,707	18,303	+ 596	+ 3.4
	営業利益	2,782	2,729	▲ 52	▲ 1.9
	スポーツ・ 建設資材	9,470	10,632	+ 1,162	+ 12.3
その他	営業利益	476	616	+ 140	+ 29.5
	売上高	633	739	+ 105	+ 16.7
北米事業	営業利益	▲ 95	▲ 191	▲ 96	-
	売上高	27,571	37,039	+ 9,468	+ 34.3
欧州・南米事業	営業利益	1,858	2,034	+ 175	+ 9.5
	売上高	4,166	4,760	+ 594	+ 14.3
連結	営業利益	327	361	+ 34	+ 10.6
	売上高	59,549	71,475	+ 11,926	+ 20.0
	営業利益	4,302	4,560	+ 258	+ 6.0

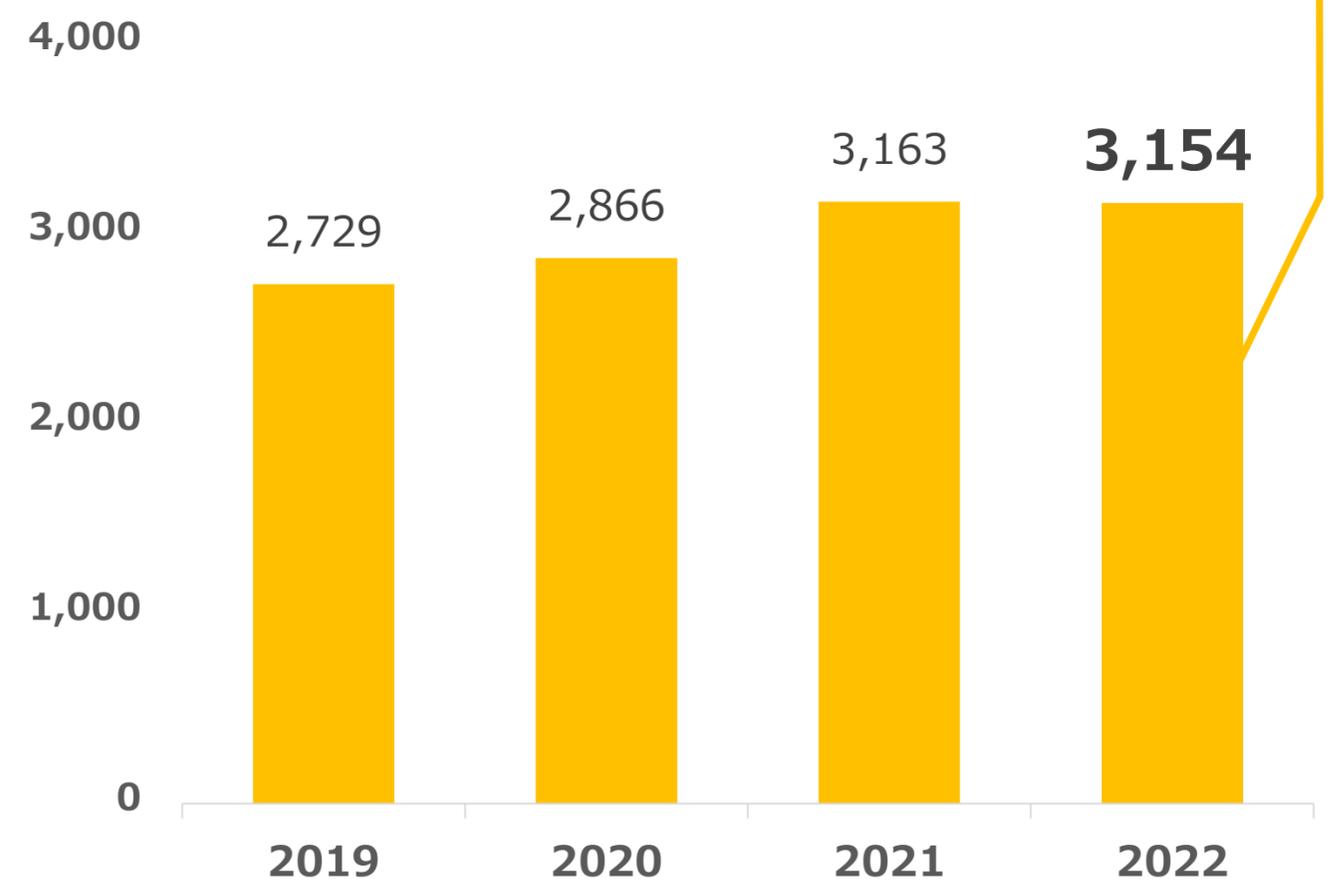
売上高推移

(単位：百万円)



営業利益推移

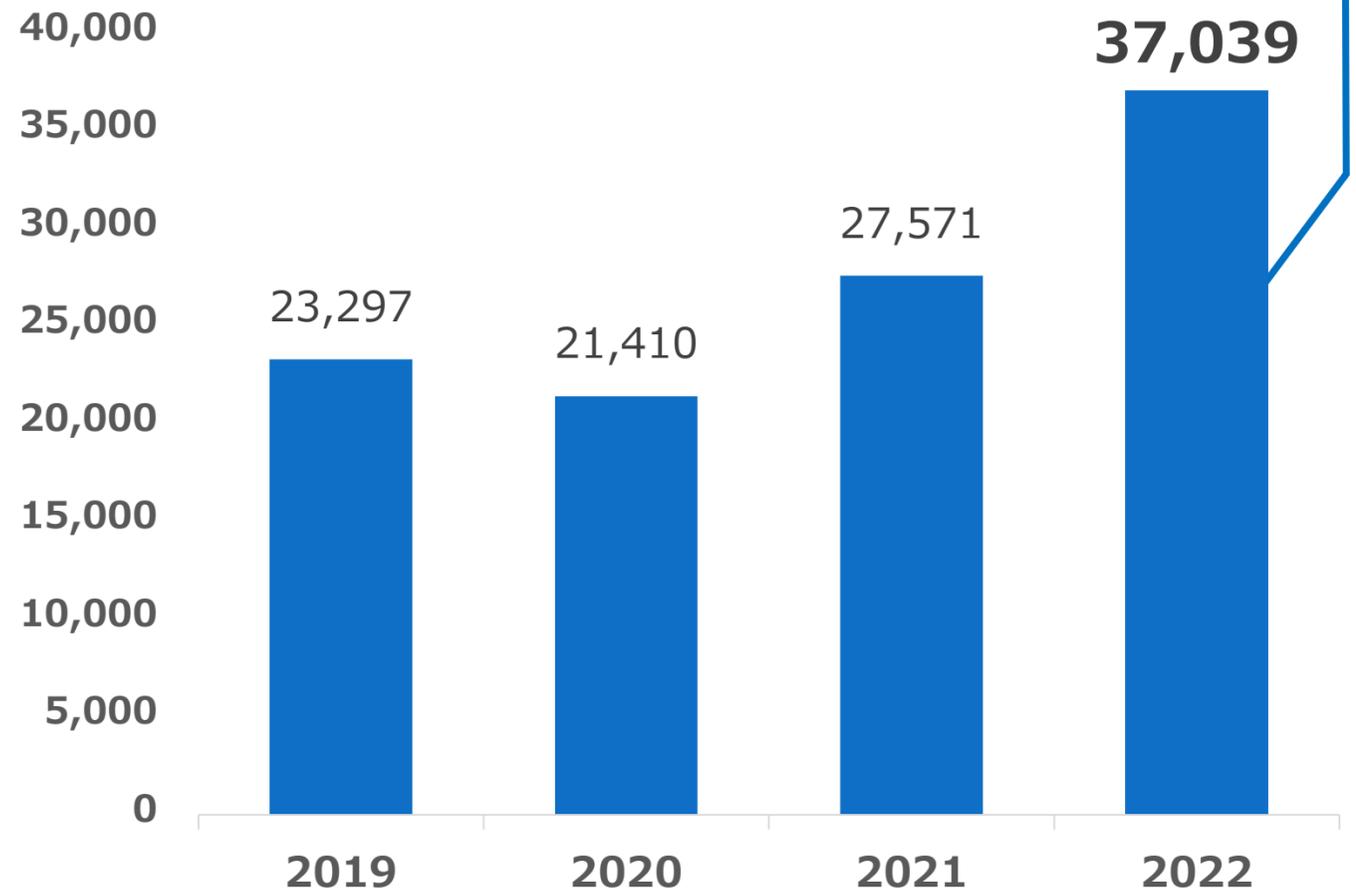
(単位：百万円)



- 日系建機・農機メーカーの生産台数が高水準を維持したことで販売が増加した一方、原材料費や物流費、円安による調達コストの増加により、産業資材事業が増収減益
- 民間設備投資の持ち直しや、鉄道各社の安全対策強化に向けた設備投資の他、文教施設における需要が旺盛であったことから、スポーツ・建設資材事業が増収増益

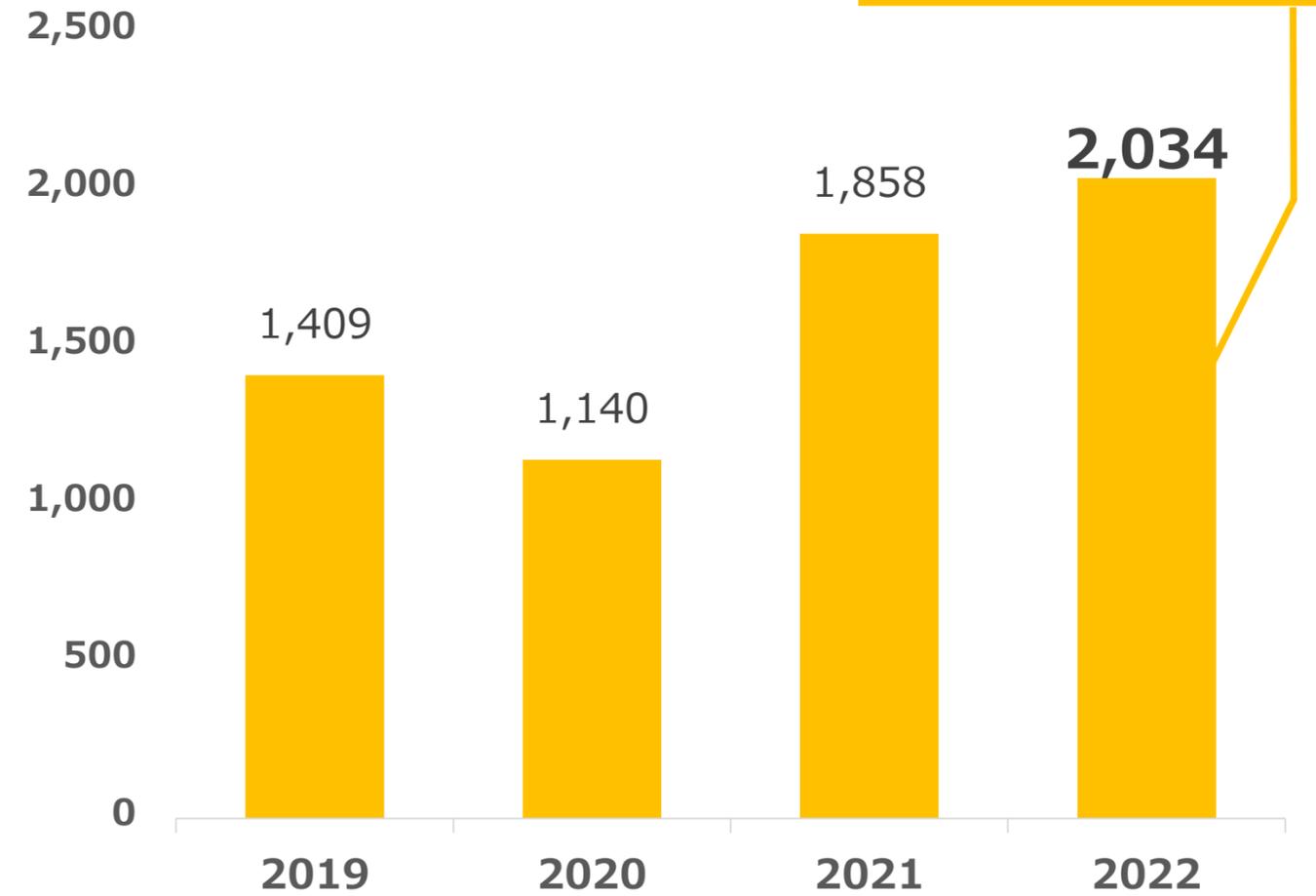
売上高推移

(単位：百万円)



営業利益推移

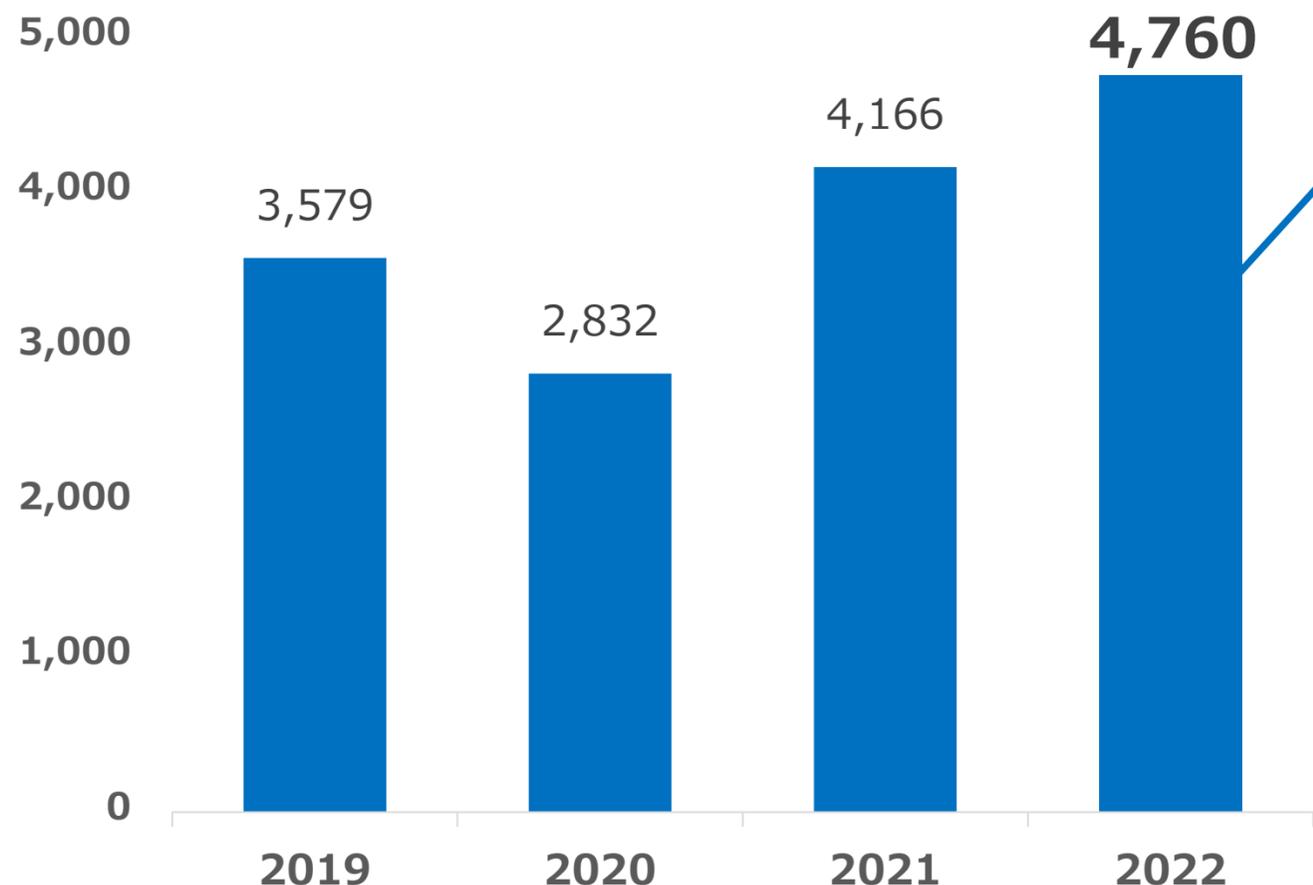
(単位：百万円)



- 外食産業向け「飲料用ホース」や住宅外壁塗装用「ペイントスプレーホース」、灌漑含む農業分野向け「レイフラットホース」需要が高水準を維持し、幅広い業界で各種ホース・継手の販売が堅調に推移
- 急速に進行した円安により大幅増収となったものの、損益面では人件費、原材料費や物流費等の高騰が価格転嫁を上回り小幅な増益となった

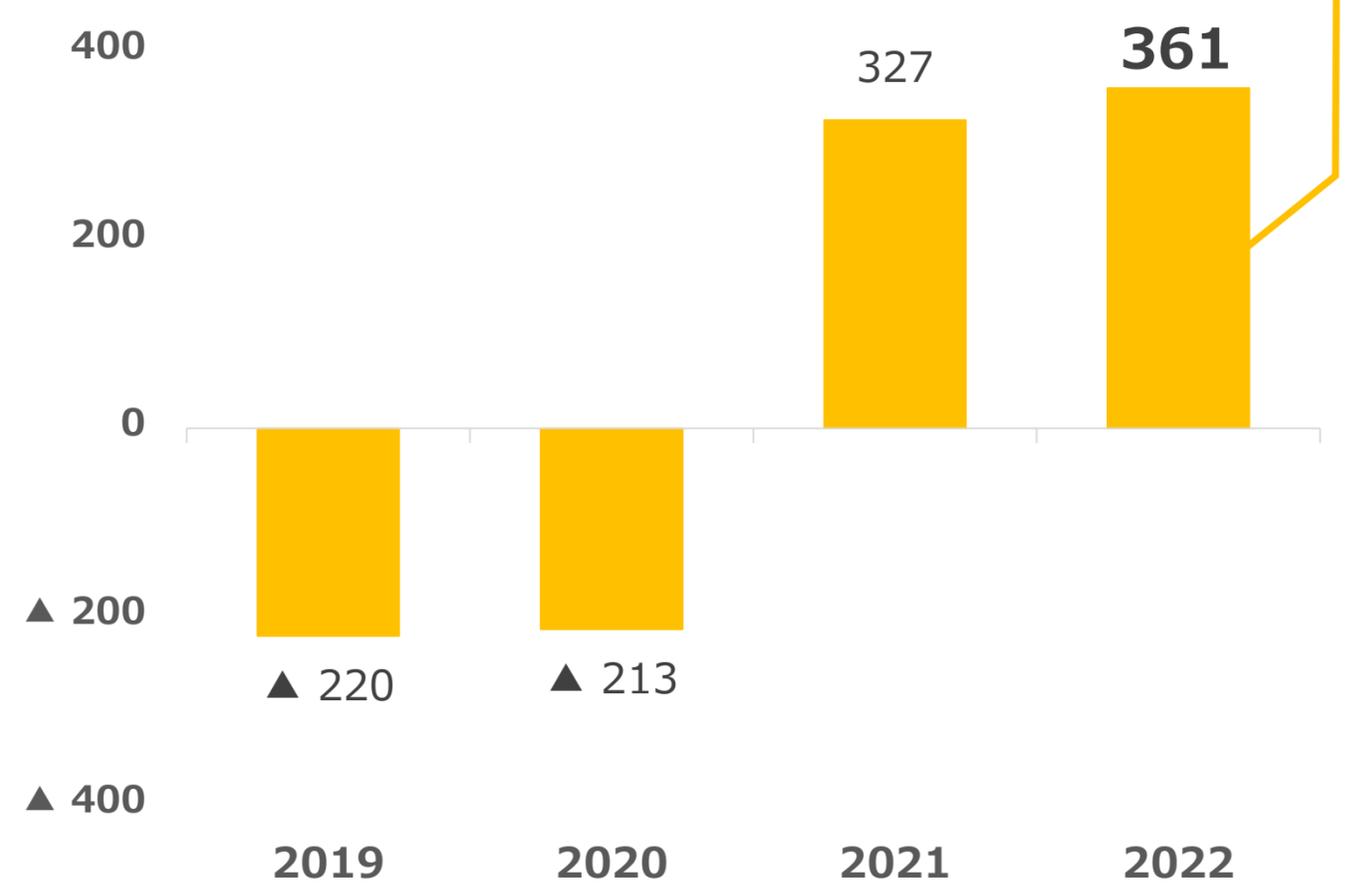
売上高推移

(単位：百万円)



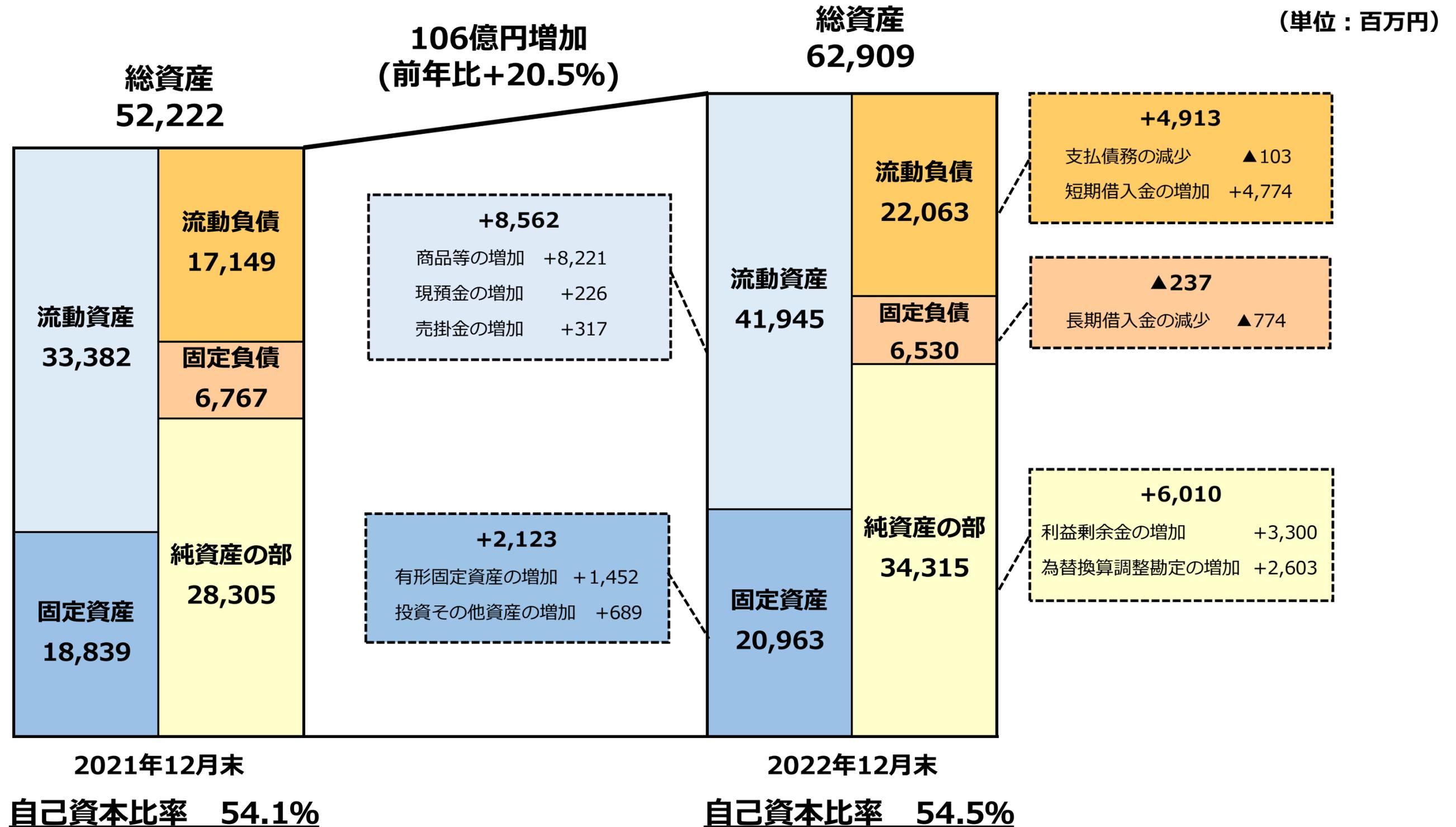
営業利益推移

(単位：百万円)



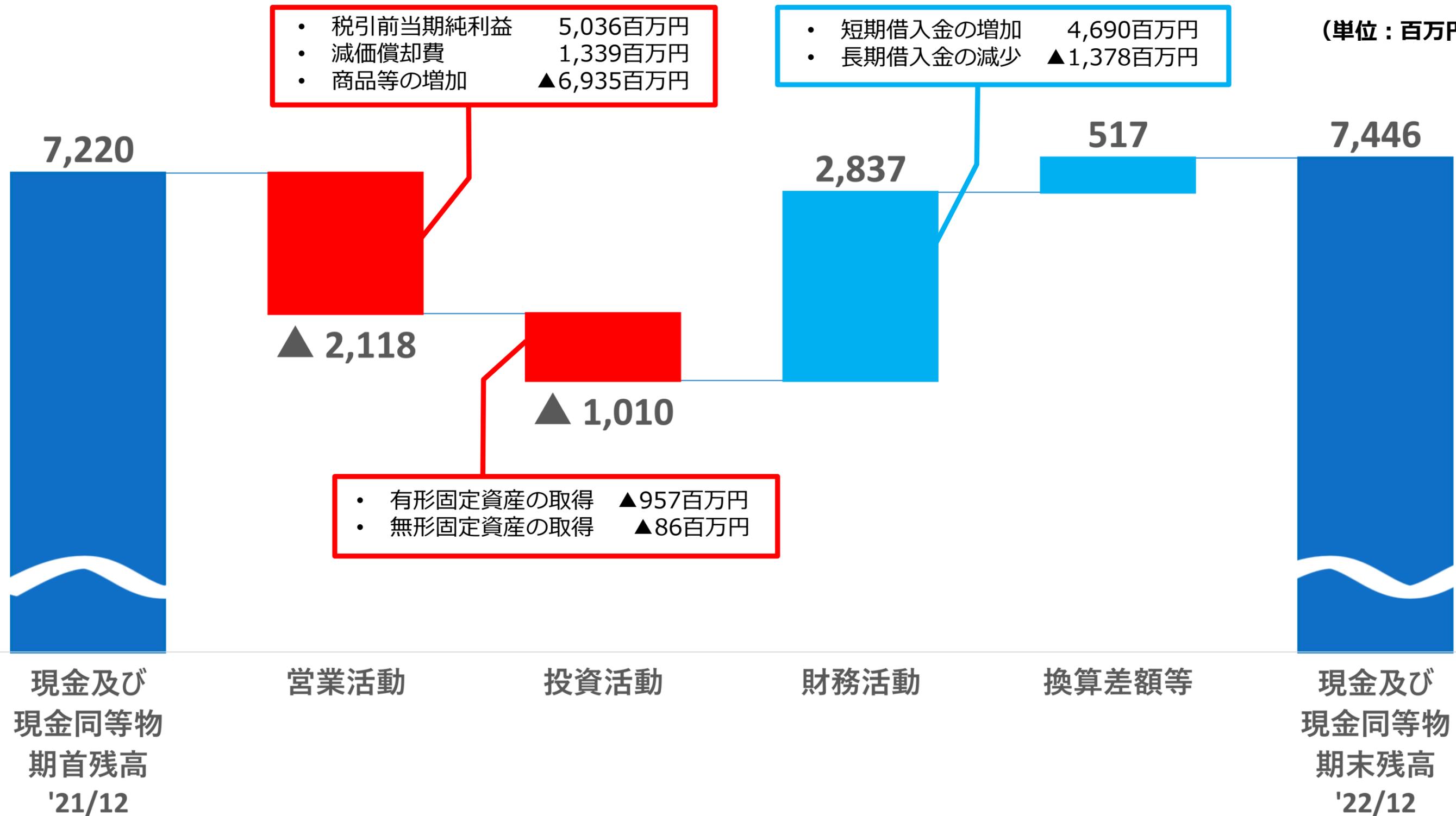
- 「消防機関向けホース・ノズル」の米国向け輸出や、アルゼンチンにおけるオイル・ガス採掘のための長距離送水用「大口径レイフラットホース」の販売が好調に推移
- 欧州におけるエネルギー価格の高止まりや、アルゼンチンの超インフレ会計適用がマイナス要因となるものの、増益を維持

要約貸借対照表



キャッシュ増減要因

(単位：百万円)



2023年度 連結業績見通し

連結業績予想



(単位：百万円)

項目	2022年12月期 (実績)	2023年12月期 (予想)	前年比		2023年12月期 2Q累計 (予想)
			増減額	増減率(%)	
売上高	71,475	71,000	▲ 475	▲ 0.7	36,000
営業利益	4,560	4,200	▲ 360	▲ 7.9	2,400
利益率	6.3%	5.9%			6.6%
経常利益	4,971	4,600	▲ 371	▲ 7.5	2,600
利益率	6.9%	6.4%			7.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,637	3,300	▲ 337	▲ 9.3	1,800
利益率	5.0%	4.6%			5.0%

為替レート 2022年(実績) : USD=132.08、CAD=101.01、EUR=138.54、RMB=19.50
 2023年(予想) : USD=125.00、CAD=93.00、EUR=133.00、RMB=19.00

主要通貨の為替感応度※ (単位：百万円)

通貨	売上高	営業利益
USD	240	5
EUR	38	3

※1円の変動による影響額(通期)

セグメント別 業績予想

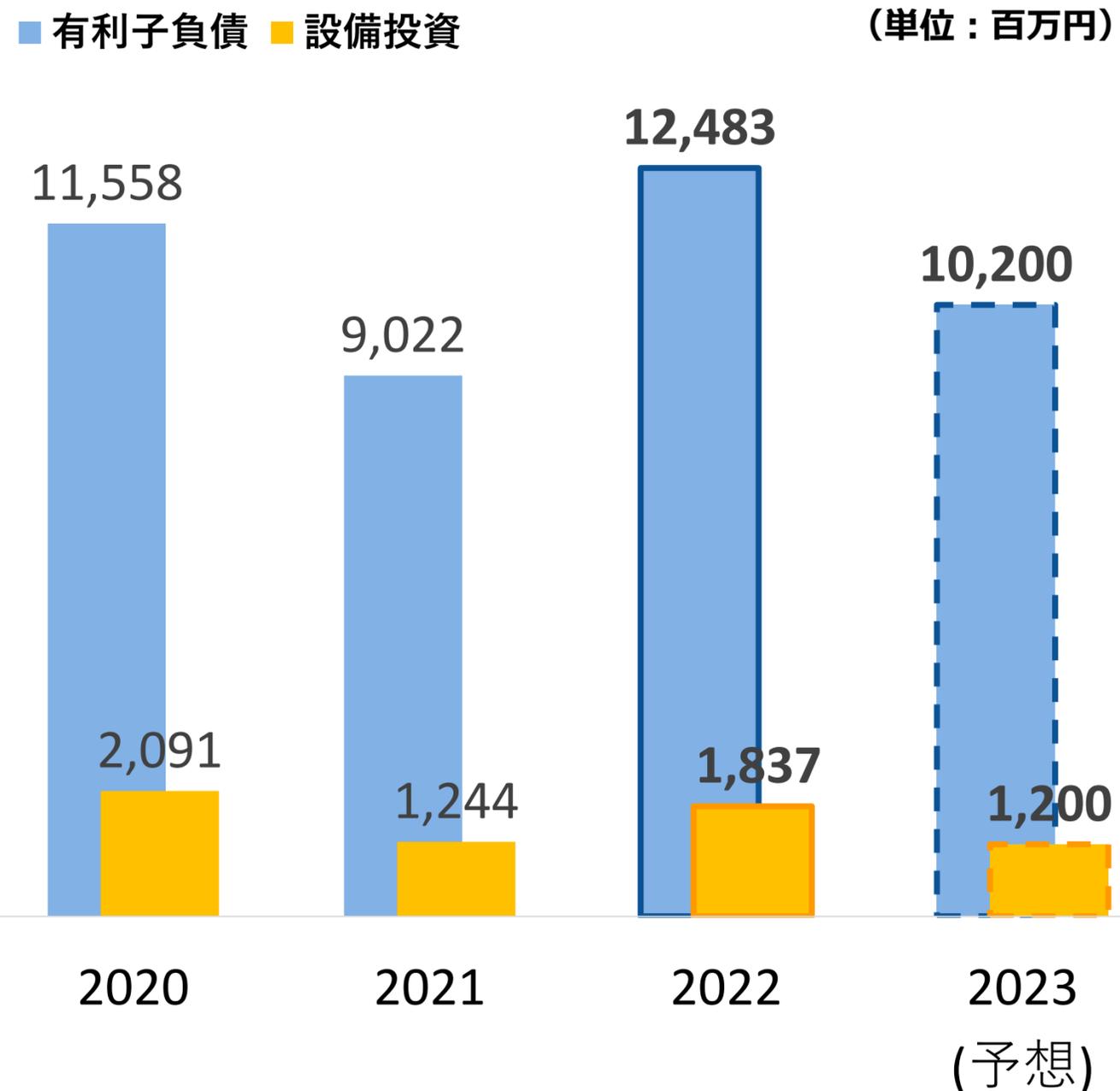


(単位：百万円)

セグメント		2022年12月期 (実績)	2023年12月期 (予想)	前年比	
				増減額	増減率(%)
アジア事業	売上高	29,675	28,600	▲ 1,075	▲ 3.6
	営業利益	3,154	2,900	▲ 254	▲ 8.1
北米事業	売上高	37,039	37,300	+ 260	+ 0.7
	営業利益	2,034	2,100	+ 65	+ 3.2
欧州・南米事業	売上高	4,760	5,100	+ 339	+ 7.1
	営業利益	361	380	+ 18	+ 5.0
連結	売上高	71,475	71,000	▲ 475	▲ 0.7
	営業利益	4,560	4,200	▲ 360	▲ 7.9

※全社費用はセグメント別の営業利益には案分しておりません

有利子負債および設備投資の推移



概要

- 機会損失回避のため在庫を拡充したことで短期借入金が増加したが、販売の進捗に伴い借入金は減少の見込み
- 北米のホース生産設備及び物流機能のアップグレードを中心に投資を計画

主な内訳

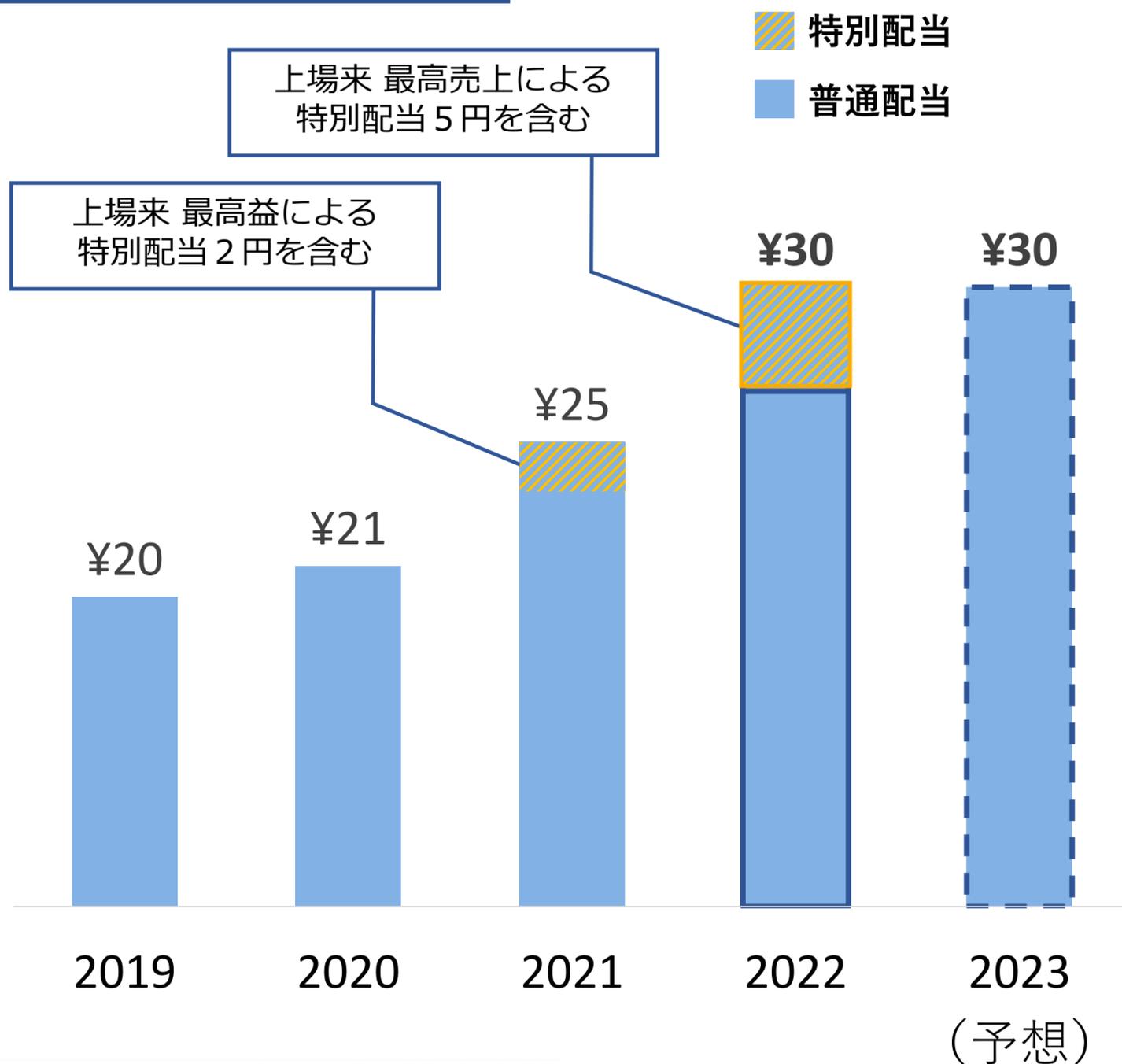
(ホース事業)

- 北米 : 7.5億円
- 欧州・南米 : 1.5億円

(アジア事業)

- センサー関連 : 1.0億円
- 量産用金型他 : 1.7億円

配当金の推移



基本方針

将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当の実施

株主還元の動向

- 2004年の上場以来、現在まで減配なし
- 23年期末は普通配当1株当たり5円増配の30円を予想
- 公平性の観点から配当による利益還元を充実
(2022年度12月末で株主優待制度を廃止)

事業戦略と人財戦略

◆◆「環境」と「人」に優しい企業づくり◆◆

グローバル事業戦略

1. 建機・農機のグローバルTier1サプライヤーとしての地位を確立する
2. 産業用総合ホースメーカーとして品質と信頼のNo.1ブランドを目指す
3. 現地生産・現地販売を推進し、各国の経済発展に貢献する



センサー事業の進捗と展望



ホース事業のグローバル展開



センサー事業の進捗と展望

これまでの進捗

■ 建機・農機・商用車に特化した需要取込み

- 日系の建機・農機向けに加え、商用車における採用が本格化したことにより、センサー関連部品の供給量が増加

今後の展望

■ 排ガス規制強化による需要拡大

- 既に規制強化が進む先進国でのSCR市場シェア拡大
- 新興経済大国におけるマーケティング活動強化

■ 次世代商品の開発に注力

- 知財の集約と開発力強化に向けたR&Dセンターの設置検討



ホース事業のグローバル展開

北米事業の展望

- 消防機関向けホースの包括的な自社生産・加工体制の整備
- 商品調達、在庫管理及び在庫ロケーションの適性化による顧客サービスの向上と需要の取込み

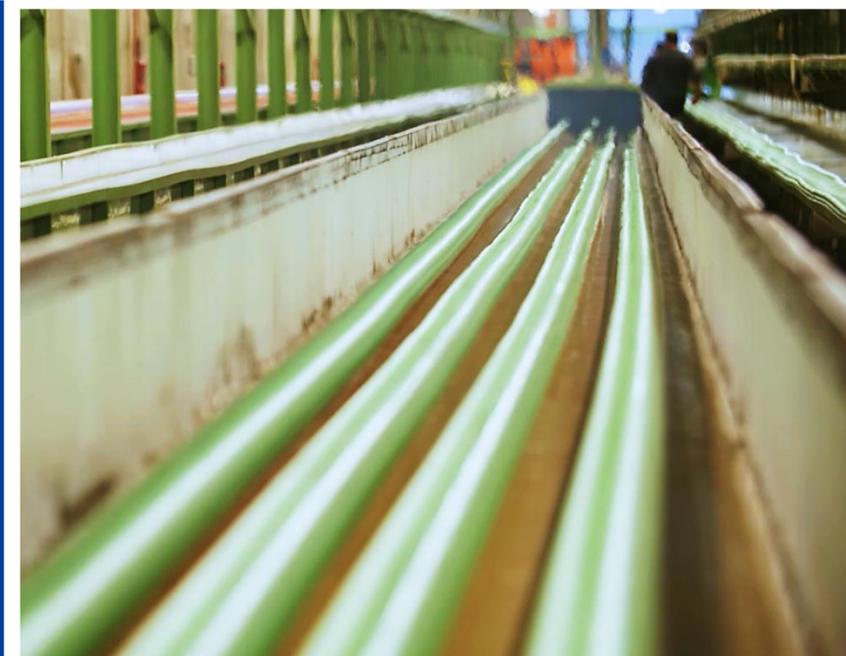
欧州・南米事業の展望

- 地産地消の優位性を活かした欧州域内における消防機関や農業分野向け拡販
- 送水用ホース需要が見込まれる中東、南米市場の深耕



ホース事業の横断的な取組み

- ホース製造技術や原材料の開発を中心とするR&D機能の強化



国内事業戦略

1. ユニバーサルデザインと融合した、
スポーツ・商業施設などの総合床材
No.1ブランドを目指す
2. スポーツアパレル“モンチュラ”の
販売拡大を通じて健康社会の発展
に貢献する



スポーツ・建設資材事業の展望



スポーツアパレル“モンチュラ”の展望

スポーツ・建設資材事業の展望

- ユニバーサルデザインと融合した商品の開発と拡販
- 防災・減災関連商品の需要取込み強化
- 環境に配慮した商品の開発と普及



スポーツアパレル“モンチュラ”の展望

- HERNOプロデュースによる商品デザインや販売戦略等のリニューアル
- コーポレートアンバサダー及びトップアスリートとのスポンサー契約による広告宣伝活動の継続
- 直営店舗体制の拡充



人財戦略

100年企業に向けて、積極的な
人的資本への投資を実施

《 重点分野 》

- 人財教育
- 労働環境
- ダイバーシティ



100年企業に向けて、積極的な人的資本への投資を実施

人的投資分野	主な取組み
<h3>人財育成</h3>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 海外派遣制度の拡充 「KGC(クリヤマ グローバル チャレンジ)プロジェクト」 ■ キャリア・特性に応じた研修制度の充実 ■ キャリア形成に関する全社員との面談実施
<h3>労働環境</h3>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 従業員の更なる待遇改善 ■ 出社時間やテレワークの選択制導入等、働き方改革の更なる推進 ■ 健康経営の推進（「健康経営優良法人2023(大規模法人部門)」取得） ■ コミュニケーション活性化を図るオフィス環境の整備
<h3>ダイバーシティ</h3>	<ul style="list-style-type: none"> ■ グローバル経営の推進 外国人の幹部への登用 ■ 出産・子育て支援、女性活躍支援等の充実 ■ 外国人採用、中途採用、障がい者雇用の推進



健康経営優良法人
Health and productivity





ご清聴ありがとうございました

お問い合わせ先

クリヤマホールディングス株式会社

社長室

〒540-6325

大阪府中央区城見1丁目3番7号松下IMPビル25階

E-Mail : IR@kuriyama.co.jp

TEL : 06-6910-7023

FAX : 06-6910-7035

<https://www.kuriyama-holdings.com>

補足資料

ESG・SDGsへの取り組み

KURIYAMA VALUE

わたしたちだからこそ、できること

誰もが輝き、共に成長する
豊かな未来へ

事業を通じて積極的に取り組む課題

持続可能な社会づくりに 貢献する企業グループ

気候変動と大気汚染
による影響軽減に向け、
事業を通じて地球
温暖化や脱炭素の課
題に取り組めます



新素材の活用や生産技術向上に
より、環境負荷低減商品の開発を
強化します



廃棄物を資源として再利用、または適正に
処分することで循環型社会に貢献します



全社的に取り組みを 強化する課題

持続可能な事業の基盤

多様な人材の価値を活かし、
個々の能力を発揮できる組織づくり



人々のニーズに配慮し、公
共交通機関への安全なア
クセスを実現する サステ
ナブルな商品を開発、提
供しています



スポーツ振興を通して人々を支え、
健康社会への発展に貢献します



ESG・SDGsへの取り組み

気候変動と大気汚染による影響軽減に向け、事業を通じて地球温暖化や脱炭素の課題に取り組めます

排気ガスを浄化し大気汚染対策に貢献する「尿素SCRシステム」



スポーツ振興を通して人々を支え、健康社会への発展に貢献します

競技施設から防災拠点まで多目的機能をもつ弾性スポーツシート「タラフレックス」

国内のスポーツ振興に貢献する「日本トップリーグ連携機構（JTL）」をサポート



高機能で快適「MONTURA」ウェア、シューズ等の販売や、スポーツ教室の開催サポート等による健康社会への貢献



人々のニーズに配慮し、公共交通機関への安全なアクセスを実現するサステナブルな商品を開発、提供しています

視覚障がい者を守る点字タイル、公共交通機関での転倒事故やけがを防ぐノンスリップタイル

駅ホームでの転落事故防止のため、電鉄会社と共同開発した段差・隙間対策商品「スキマモール」



新素材の活用や生産技術向上により、環境負荷低減商品の開発を強化します

NSF（USA）に認定された人体に適した飲料用ホース等の製造販売



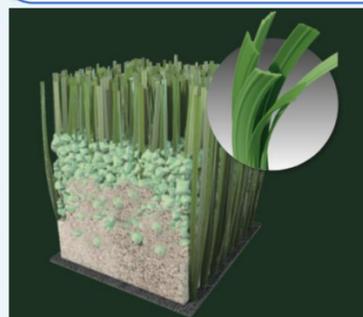
ESG・SDGsへの取り組み

廃棄物を資源として再利用、または適正に処分することで循環型社会に貢献します

セラミックタイルの廃材をリサイクル、都市型洪水やヒートアイランド現象にも貢献する「アクアスルー」

ホースの製造工程で発生するスクラップの削減と再利用により産業廃棄物量を削減

環境と身体の安全に配慮した人工芝「モントーフ」・「リモンターフ」



樹脂や天然素材の充填剤



製造した消防用ノズルの検査において、工場での水の使用量を削減するため、テストで毎回使用される水は循環型回路を採用

ホース製造工程で、工場での排水は浄化システムを採用し、外部機関でシステム性能を監視

環境に配慮したマテリアルでの高機能なMONTURAウェアの販売



透水・給水タイル
アクアスルー



工場排水の浄化システム



ESG・SDGsへの取り組み

人権を尊重し、多様性のある人材を育成することで“誰もが輝く社会づくり”に貢献します



【クリヤマジャパンの働き方改革】

- ・「アーリーBiz」・・・定時30分前退社を推奨
- ・「通勤Biz」・・・時差出勤を可能とする
- ・「ランチBiz」・・・昼食時間を自分で選択
- ・「ドレスBiz」・・・就業時の服装をTPOに合わせて選択
- ・「2×4リフレッシュ休暇」・・・年間休日に加え、四半期毎に2日以上の有給取得を推奨
- ・「テレワーク」・・・個々のライフスタイルに合わせた自律的な働き方を推進



⇒2021年に総務省の「テレワーク先駆者百選」に認定されました

【ダイバーシティの推進】

性別や年齢、国籍に関わらず、多様化する価値観等の違いを尊重し、個々の能力を最大限に発揮できるようダイバーシティ経営を推進しています。

【健康経営の推進】

当社及びクリヤマジャパン株式会社の「健康経営」に関する各種取り組みは、今年度も「健康経営優良法人2023（大規模法人部門）」に認定されました。



【奨学金返済支援制度】

就学時に借り受けた返還が必要な奨学金の一部について、会社が返済原資として補助金を給付する制度を導入しています。
※諸条件有り

【寮・社宅・住宅取得補助制度】

従業員が快適に生活できる環境を実現するべく、通勤圏内に自己が所有する住居が無い方を対象とした各種寮・社宅制度を用意しています。

【出産・子育て支援】

- ・育児短時間勤務・・・養育する子が小学校就学前まで短時間勤務が可能です。（法定では3歳未満）
- ・婦人科検診補助・・・乳がん検診や子宮頸がん検診等の費用を一部補助しています。
※対象者：25歳以上（扶養対象の配偶者を含む）
- ・子ども手当の支給



【再雇用年齢の延長】

従業員が再雇用後も生きがいをもって働くことが出来るよう、再雇用者の経験・能力・知識を有効活用し、生活の安定を図ることを目的としています。

この資料は投資家の参考に資するため、クリヤマホールディングス株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

今後新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる情報の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。